

令和5年3月10日

令和4年度 第3回 大阪府立東住吉支援学校 学校運営協議会 実施報告書

大阪府立東住吉支援学校  
校長 甲斐 俊夫

日時	令和5年3月10日（金） 午後1時30分～午後3時
場所	大阪府立東住吉支援学校 調理室
委員	五位塚和也 船戸正久 北畠正寛 羽室剛 藤坂美穂 富田万由子
学校	甲斐俊夫（校長） 山下尚亮（准校長） 坂田享介（教頭） 造田明德（教頭） 萬井俊治（首席） 蔵本真澄（首席） 池田浩明（首席） 中尾葉子（首席）
議題	(1) 令和4年度 学校経営計画及び学校評価における 本年度の取り組み及び自己評価について (2) 学校教育自己診断について (3) 令和5年度 学校経営計画「めざす学校像」「中期的目標」
協議 要旨	(1) 令和4年度 学校経営計画及び学校評価における 本年度の取り組み及び自己評価について →両部門の自己評価を抽出して説明。 <b>【質問及び意見聴取】</b> ・センター的機能について ① 目標未達成の理由は？ 相談のあった件数を目標にするのではなく、質を高めることのほうが大事と感じた。 →結果がどうだったかを指標にしたらいい。巡回指導の使いやすさ改善したらいい。事例やモデルケースを示せば巡回指導数が伸びるケースもある。利用していいことがあると思うと相談しようと思う。教材などについて地域の学校は充実していない。地域支援講座を積極的に行うのもいい。 ② 具体的な相談内容は？ 知的障がい教育部門では発達障がいについての相談が多い。なじめない、パニックなど。 ・いじめの具体的な内容は？ 言葉によるものが多い。コミュニケーションを上手にとれない（感情や思いをうまく伝えにくい、声のトーンや表情をとらえにくいなど）。保護者とも連携し大きく深刻化することはなかった。不登校になることも今年度なかった。

- ・居住地校交流の希望者とは？  
担任から家庭に聞いて確認している。居住地校の理解を増やしていければ。
- 【感想】
- ・長時間勤務について：月80時間以上の人もいて大変ですね。
- ・キャリアプランマトリックスについて：  
どんなものなのか見てみたい。Hpに載せてもいいのではないかな。  
小学部ではなかなかピンとこない。お知らせのプリントとかは、見やすい文章で、目をひくようなレイアウトにしたらいいのでは？  
就労に向けて小学部で築くハード面が大事なことがある。支援計画などで結果的に必要になる、という説明にもつながる。教職員もしっかり理解して指導にあたる必要がある。何のためにやっているか共通理解する必要がある。
- ・災害について：  
PTA主催の防災研修について説明。
- ・教職員向け学校教育自己診断について：  
ベテランと新しい、若い人の分断がある。  
団結できているのか不安。
- ・質問内容について：  
質問項目や文言の工夫が必要である。  
就労、職業という言葉だけでなく、卒業後の生活という言葉も追加して  
いってはどうか。
- (2) 学校教育自己診断について  
→回答の低さと課題について説明。  
回答率の改善が課題だが、今後もGoogle formsを活用していきたい。
- 【質問及び意見聴取】
- ・集計方法について  
Google forms ベースと紙ベースの併用がいいのではないかな。  
メールで何回もお願いすることも必要。回答率の数値を見える化。
- ・自由記述より  
OJT（仕事を通じての指導・育成）の体制について：  
ベテラン教諭になるほど会議や校務が多くなり忙しい。  
ベテラン教諭と経験の少ない教諭で話す時間が少ない。  
まずは働き方改革からスタートすることが大切と考える。

	<p>○児童生徒の情報共有について 電話でその日に解決できることが難しくなった。 デイやバスへの引継ぎが教職員によって丁寧さが違うと感ずることがある。</p> <p>○給食の異物混入について 原因についていろいろな要素が絡んでいるが、委託業者に責任をもって作ってもらえるように体制整備をお願いしている。</p> <p>(2) 令和5年度 学校経営計画「めざす学校像」「中期的目標」 →「めざす学校像」、両部門の「中期的目標」を抽出して説明。 全会一致で承認。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 学校経営計画および学校評価 (肢体不自由教育部門 知的障がい教育部門)</li> <li>・教職員向け学校教育自己診断</li> <li>・保護者向け学校教育自己診断</li> <li>・学校教育自己診断分析</li> <li>・学校教育自己診断結果一覧表</li> </ul>
備考	傍聴者【 0 】名